

世界史 A

(解答番号 ~)

第1問 都市は、様々な人々が集うことで、歴史が紡がれる場となった。世界史における都市について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。
(配点 29)

A マラッカ(ムラカ)を訪れた三人の学生が、現地のガイドと話をしている。

ガイド：この街は、マラッカ王国の都となった港市でした。後背地のマレー半島との関係は薄かったものの、熱帯産品の集散地として、中国から中東、アフリカに至るネットワークに組み込まれていました。

相 川：旧市街には、モスク、寺院、教会など多様な宗教建築が並んでいますね。

ガイド：近くには、マラッカに立ち寄った鄭和の名を冠した井戸もあります。

相 川：その後、この街はヨーロッパ勢力に支配されましたね。先ほど通った教会の名は、ザビエル教会でした。日本に来る前にここにいたのですね。

井 上：この広場も、ヨーロッパの国の名が付いていますね。

ガイド：その国は、バタヴィアに拠点を築いて東南アジア海域を支配し、この街を奪取しました。その後、1824年の条約により、マラッカは別の国に譲渡され、海峡植民地の一部となりました。

井 上：事前に海峡植民地の貿易について調べたのですが、表の輸入品と輸出品の品目が同じで、輸入品の大部分はそのまま輸出されていたようです。

宇 野：表の品目を見ると、後背地との関係は変化しているようですね。

ガイド：1824年の条約により、一つの空間であったマラッカ海峡に境界線が引かれ、その兩岸もそれぞれ別の国の植民地になっていきました。現在マラッカ海峡を挟む二つの国家も、それぞれの植民地の領域を受け継いでいます。

宇 野：港市も植民地の一部となるわけですね。

ガイド：植民地化されたマレー半島では土地開発が進み、労働者として移民を受け入れました。その結果、現在の多民族社会が形成されたのです。

表 1883 年の海峽植民地における主要商品別貿易額

(単位：1000 ポンド)

輸入品		輸出品	
すず 錫	2373	錫	2672
綿製品	1930	米	1381
米	1866	綿製品	1370
アヘン	1281	アヘン	1186
こししょう 胡椒	937	胡椒	1133

(杉原薫『アジア間貿易の形成と構造』より作成)

問 1 前の文章を参考にしつつ、マラッカにおける人や文化の交流について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① ムスリム商人の活動が盛んになり、マラッカ王国がイスラームを受容した。
- ② 南宋によって派遣された艦隊を受け入れ、南宋の朝貢国となった。
- ③ スペインによって占領され、イエズス会の宣教師が活動した。
- ④ 19 世紀に植民地化された結果、民族的な多様性は失われた。

問 2 前の文章を参考にしつつ、マラッカの帰属の変化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 1824 年にイギリスからオランダに譲渡され、現在はインドネシアの一部となっている。
- ② 1824 年にイギリスからオランダに譲渡され、現在はマレーシアの一部となっている。
- ③ 1824 年にオランダからイギリスに譲渡され、現在はインドネシアの一部となっている。
- ④ 1824 年にオランダからイギリスに譲渡され、現在はマレーシアの一部となっている。

世界史 A

問 3 帰国後、三人はマラッカ海峡における貿易の歴史について、メモにまとめた。前の文章を参考にしつつ、次のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

相川さんのメモ

マラッカは、東南アジアの香辛料を集荷し、外部から来た商人に卸す港市であり、南シナ海とインド洋の双方にネットワークを持っていた。

井上さんのメモ

海峡植民地は、中継貿易の拠点となった。アヘンがインドから中国に運ばれたが、表から、その貿易の中継点となったことがうかがえる。

宇野さんのメモ

マレー半島の特産物であった錫は、表中で海峡植民地の輸出品の1位となっている。このことは、マラッカ海峡に境界線が引かれたことによって、港市と後背地の関係が弱まったことを示している。

- ① 相川さんのみ正しい。
- ② 井上さんのみ正しい。
- ③ 宇野さんのみ正しい。
- ④ 相川さんと井上さんの二人のみ正しい。
- ⑤ 相川さんと宇野さんの二人のみ正しい。
- ⑥ 井上さんと宇野さんの二人のみ正しい。

B 原田さんと加藤さんが、20世紀の俳優ユル＝プリンナーの生涯に興味を持ち、彼の出生地ウラジヴォストークと彼の家族について調べた。

原 田：

省略

④これには前年

のロシアの動きも影響しているのかもしれないと、私は推測しました。
授業では、ロシアが朝鮮半島を狙うのは、中国で起こったア以降
と学んでいたのですが、1900年以降のこととと思っていましたが、その前から兆しはあったのですね。

先 生：

加 藤：

省略

今回二人でウラジヴォストークの歴史を調べて、国際都市としての性格を知りました。

先 生：それでは、外国とのつながりを確かめるために、1913年のウラジヴォストーク港の統計を基にした表1と表2を見ましょう。何か気が付きましたか。

原 田：表1によると、ロシア船に次いで日本の船が多いです。でも表2の民族別来航者数を見ると、ロシア人以外では、中国人と朝鮮人も多いです。私たちは、スイスとドイツからやって来て成功した商人に着目しましたが、実際は、東アジアからも多くの人々がウラジヴォストークへ来ていたことが分かります。

世界史 A

加 藤：表 1 と表 2 とを比べると、当時の朝鮮半島での出来事も垣間見えます。

ロシア国外の情勢が、ウラジヴォストークの統計に反映されているのも、興味深いです。国籍と民族は違うということですね。ロシアであれ日本であれ、一国の中に複数の民族が居住している状態がよく分かります。

表 1 1913 年にウラジヴォストークへ来航した船の数(船籍別) (単位：隻)

ロシア	アメリカ 合衆国	イギリス	ドイツ	イ	ウ	その他
283	17	32	30	17	202	20

表 2 1913 年のウラジヴォストークの民族別来航者数 (単位：人)

ロシア人	イ 人	エ 人	ウ 人	その他
27625	28263	11351	2155	999

(注) 表 2 の民族の区分は、作成当時の基準に準ずる。

(表 1・2 とも *Obzor Primorskoï oblasti za 1913* より作成)

問 4 原田さんが下線部㉔のように推測した根拠として最も適当なものあ・いと、文章中の空欄 ア に入れる語 X・Y との組合せとして正しいものを、後の ①～④のうちから一つ選べ。 4

原田さんが下線部㉔のように推測した根拠

あ 三国干渉以降、ロシアの朝鮮半島への影響力が強まると思われるから。

い 日露戦争の結果、ロシアが朝鮮半島の市場を独占できると思われるから。

ア に入れる語

X 義和団事件 Y 五・四運動

① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

問 5 下線部①に関連して、アドルフ＝ダッタンが逮捕された理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 第1次ロシア革命(ロシア第一革命)の際、政府を批判したから。
- ② 第一次世界大戦の開始後、敵国の人間とみなされたから。
- ③ 十一月革命(ロシア暦十月革命)の際、ソヴィエト政権を批判したから。
- ④ 独ソ戦の開始後、敵国の人間とみなされたから。

問 6 前の文章を参考にしつつ、表1・2の空欄 ～ に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① イー日本 ウー中国 エー朝鮮
- ② イー日本 ウー朝鮮 エー中国
- ③ イー中国 ウー日本 エー朝鮮
- ④ イー中国 ウー朝鮮 エー日本
- ⑤ イー朝鮮 ウー日本 エー中国
- ⑥ イー朝鮮 ウー中国 エー日本

世界史A

C 大学生の田中さんは、レポートのテーマとしてベルリンの歴史を選んだ。そこで、地図サイトのストリートビュー機能を使い、ヴァーチャル空間を移動しながら、この街の歴史を調べてみた。次の文章と図は、田中さんのメモの一部である。

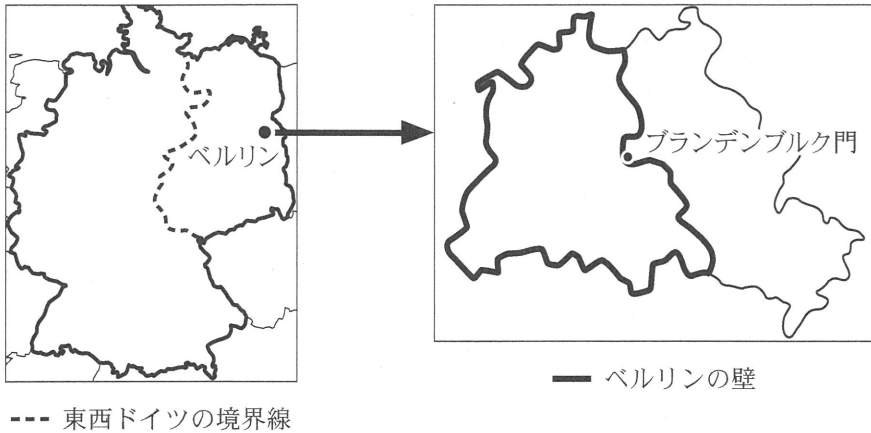
メモ

現在のベルリン市の境目から幹線道路を進んでいくと、「6月17日通り」に出る。この通りは、1953年6月17日にドイツ民主共和国で起こった民衆蜂起への弾圧に抗議して、同年、ドイツ連邦共和国の成立以来首相を務めていた人物が、こう名付けた。その少し先には戦勝記念塔が見えてくる。この塔は、とりわけ、ビスマルクがプロイセン首相だった時の諸戦争の勝利を顕彰して建てられたそうだ。

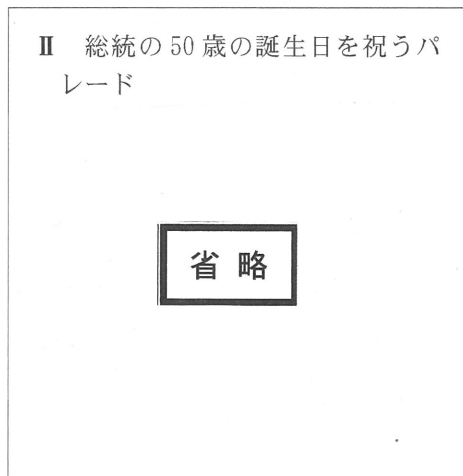
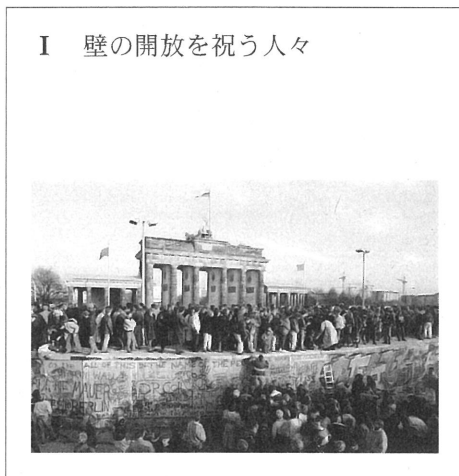
「6月17日通り」をさらに移動すると、ブランデンブルク門にたどり着いた。調査の結果、©アメリカ合衆国のケネディ大統領が在任中にここを訪れていたことが分かった。この門の付近にカーソルを合わせると、道路に埋め込まれた壁跡の銘板が見つかった。この壁のほとんどは、1948年にソ連が封鎖し孤立させた、3か国のベルリン管理地域を囲んで、築かれたものだったという。

ブランデンブルク門を通り抜けた先にはウンター＝デン＝リンデンという大通りがある。その通り沿いにあるフンボルト大学は、かつてベルリン大学と呼ばれ、相対性理論を発表したことで知られる人物も、1910年代に所属し、研究していた。ウンター＝デン＝リンデンの先にはカール＝マルクス大通りが続いている。この大通りは、冷戦時代にはスターリン大通りと呼ばれ、先述した「1953年6月17日蜂起」の起点の一つとなった。

図 冷戦時代のドイツの略図とベルリンの拡大図



問 7 次の写真 I・II の背景には、ブランデンブルク門が写っている。前の文章を参考にして、下線部◎の出来事と写真 I・II が年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7



- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① I → II → 下線部◎ | ② I → 下線部◎ → II |
| ③ II → I → 下線部◎ | ④ II → 下線部◎ → I |
| ⑤ 下線部◎ → I → II | ⑥ 下線部◎ → II → I |

世界史 A

問 8 田中さんがヴァーチャル空間で移動した方向について述べた文あ・いと、ベルリンの壁が建設された社会的背景について述べた文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8

田中さんがヴァーチャル空間で移動した方向

あ 東から西に進んだ。

い 西から東に進んだ。

ベルリンの壁が建設された社会的背景

X 西側へ脱出する東ドイツ市民が増えた。

Y 東側へ脱出する西ドイツ市民が増えた。

① あ－X

② あ－Y

③ い－X

④ い－Y

問 9 前の文章を参考にしつつ、ベルリンの歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

① 戦勝記念塔は、ワーテルローの戦いの勝利を記念して建てられた。

② 「6月17日通り」は、ブランドが首相だった時期にその名に改称された。

③ アウシュヴィッツ強制収容所が置かれていた。

④ ベルリン大学では、アインシュタインが研究していた。

第2問 人類の経済活動やこれに対する評価は、様々な要因により変化するものである。こうした変化について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(配点 26)

A 大学のゼミで、黒澤さんと安達さんが、中世ヨーロッパの農業とその評価について教授と議論している。

教授：11世紀頃のヨーロッパでは、農業の分野で大きな変化があったと言われています。調べてきましたか。

黒澤：はい。中世農業革命と呼ばれる技術革新が、11世紀頃から確認できるとされていました。例えば、鉄製の刃や車輪を備えた、大型の重量有輪犁の普及などです。

安達：この大型犁を利用しながら、耕地を春耕地、秋耕地、休耕地に分けて輪作する **ア** が行われていました。

教授：そうですね。 **ア** に関しては、これが個々の農民が単独で行う輪作ではなく、共同体として実施された耕作システムであったことが重視されています。というのも、大型犁とこれを牽引する多数の家畜の共有、そして共同耕作の必要性が、村落共同体の成長を促した一因と考えられてきたからです。

黒澤：今回の下調べでは、重量有輪犁によって、特にアルプス以北の重い土壌の開墾が飛躍的に進んだことも知りました。中世農業革命と大開墾運動によって増大した農業生産力が、分業の進展を含む社会の進歩の原動力になったのですね。

教授：確かに開墾が進んだことにより、耕地が拡大し、穀物の収穫量は格段に増えました。しかし、こうした変化をもつばら「歴史の進歩」と見て称揚する姿勢は、余りに単純だとして、近年の歴史学では批判されてきているのですよ。

黒澤：どういうことですか。

教授：例えば耕作中心の農業では、不作は直ちに飢饉^{ききん}をもたらします。これに対して、紀元千年より前の中世初期においては、生産力の低さゆえに余

世界史 A

儀なくされた食料調達手段の多様性が、結果として、リスク分散に寄与していたと、今では考えられるようになっていきます。また、限定的な開墾や森林資源利用の抑制は、自然環境の持続的利用を可能にしたとして、近年の歴史学ではむしろ、中世初期の経済生活が積極的に評価されつつあるのです。

安 達：それって、①人間と自然環境との関わり方を問い直し、持続可能な開発を目指すSDGsの考え方と似ていますね。ひょっとして、歴史学における中世農業革命の位置づけの変化にも、こうした現代の考え方が影響しているのでしょうか。

教 授：その可能性はありますね。過去の出来事に歴史的意味を見出すのは、ほかでもない、現代に生きる私たちなのですから。

問 1 前の文章を参考にして、文章中の空欄 **ア** に入れる語あ・いと、中世ヨーロッパの農業に対する近年の歴史学での評価として最も適当なものX～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **10**

ア に入れる語

あ 囲い込み(農地囲い込み, 第2次囲い込み)

い 三圃制

中世ヨーロッパの農業に対する近年の歴史学での評価

X 中世初期の経済生活は、リスク分散や自然環境の持続的利用という観点から、意義が認められる。

Y 中世農業革命と大開墾運動がもたらした変化は「歴史の進歩」にほかならず、高く評価されるべきである。

Z 中世農業革命により普及した大型犁と多数の家畜を用いる輪作は、個々の農民が単独で行うことにより、村落共同体の形成を促した点が重要である。

① あ—X

② あ—Y

③ あ—Z

④ い—X

⑤ い—Y

⑥ い—Z

問 2 下線部②について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① イラク戦争でアメリカ軍が使用した枯葉剤(枯れ葉剤)により，森林が破壊され，人体が深刻な影響を受けた。
- ② 季節風(モンスーン)を利用した船による交易が，「オアシスの道」を通じて行われた。
- ③ 地中海と紅海とを結ぶために，パナマ運河が開削された。
- ④ アーリア人は，自然現象に神性を認めて崇拝し，それらに捧げた讃歌^{さんか}や儀礼をヴェーダにまとめた。

世界史 A

B ^{ふうこうめいび} 風光明媚な観光都市として知られる蘇州は、長江下流域のデルタ平野に位置し、長く中国の経済・文化の中心地として栄えた。古くは春秋時代に呉の国都が置かれ、その後、華北地方からの人口移動や大運河の開通などによって、蘇州の重要性は増していった。

蘇州とその近隣の湖州は「蘇湖」と並び称され、10世紀以降において、これら両地をはじめとする長江デルタの開発が本格的に進行し、中国最大の穀倉地帯となった。「蘇湖熟すれば天下足る」は、その状況を象徴的に示した^{ことわざ} 諺である。蘇州ではまた商工業も発達し、マルコ・ポーロが口述したとされる旅行記には、その経済的活況が記録されている。

14世紀には、明を建国した朱元璋が、蘇州を中心とする江南の官僚や地主らを徹底的に弾圧し、蘇州は一時衰退したが、16世紀における世界的な商業ブームのなかで、蘇州の農村地帯では製糸業や絹織物業が発達していった。その結果、長江デルタは米穀の消費地帯へと変貌していき、前述した諺に代わって「湖広熟すれば天下足る」という諺が流行した。また、海外から流入した銀が、商人や官僚らの下に蓄積され、彼らの住む蘇州における豪華な庭園の建設や書籍出版の盛行といった⑩ 都市文化の発展に拍車を掛けた。

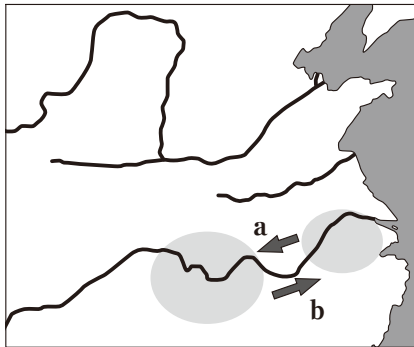
図



図には、18世紀における蘇州の活況が描かれており、運河にひしめく船や様々な店舗、そして商品を買求める人々の様子が確認できる。しかし、蘇州はその後、洪秀全が率いた反乱による荒廃などの要因によって、経済の中心としての地位を、最終的に上海に奪われるに至った。

問 3 前の文章に見える二つの諺の変化は、穀倉地帯の移動を示している。穀倉地帯の移動の方向 a・b と、その移動が起こった背景について述べた文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 12

穀倉地帯の移動の方向



移動が起こった背景

X 明代になって、蘇州が商工業都市から穀倉地帯としての性格を強めた。

Y 明代になって、蘇州が穀倉地帯から商工業都市としての性格を強めた。

- ① a — X ② a — Y ③ b — X ④ b — Y

問 4 下線部①に関連して、世界史上の都市の経済や文化の発展について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① ルネサンス期のフィレンツェでは、メディチ家の後援によって芸術家や学者が輩出した。
- ② 第一次世界大戦の後、ニューヨークは、世界金融の中心としての役割をロンドンから引き継いだ。
- ③ アッバース朝時代のバグダードは、地中海交易の中心として繁栄した。
- ④ 唐代の長安には、東西の各国からの使節や商人、留学生が集まった。

問 5 前の文章を参考にしつつ、蘇州の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 洪武帝の積極的な支援によって、蘇州は大いに発展した。
- ② 元代における蘇州の活況が、『世界の記述(東方見聞録)』に記録された。
- ③ 宋代における蘇州の繁栄が、『盛世滋生図(姑蘇繁華図)』に描かれた。
- ④ 甲午農民戦争で荒廃した蘇州は、経済の中心的地位を上海に奪われた。

世界史 A

C ある大学のゼミで、アメリカ合衆国の通商政策を議論している。

教授：次のメモは、1899年にアメリカ合衆国政府が発表した **イ** 宣言をまとめたものです。

メモ

アメリカ合衆国政府が、中国に進出している国々に以下のことを求めた。

第一に、各国の勢力圏(権益圏)及び租借地内にある、中国との条約に基づいて開港された条約港やその他の既得権益に干渉しないこと。

第二に、勢力圏内の全ての港湾(関税を免除された自由港を除く)を通過するあらゆる商品には、どの国に属する商品であろうと、中国の関税が課され、その関税は中国政府が徴収すること。

第三に、勢力圏内のあらゆる港に出入りする他国の商船に対して、自国商船に課す以上の港湾使用料を課さないこと。また、勢力圏内で建設・管理・運行される鉄道において、自国民が所持する商品に対するよりも高い鉄道運賃を、同じ距離を利用する他国民が所持する商品に課さないこと。

松本：この宣言は、◎19世紀末に起こったヨーロッパ諸国や日本による中国分割^{けんせい}を牽制するためのものではなかったでしょうか。高校の授業で学んだ覚えがあります。

教授：そうですね。まずはこの宣言の内容を検討してみましょう。関税や港湾使用料、鉄道運賃の記述から、**ウ** よう求めていることが分かりますよね。

松本：関税を中国政府が徴収するよう提唱しているのだから、中国の主権を守ろうとしていると考えられます。それに翌年には、アメリカ合衆国政府は中国の領土保全も要請しています。

有田：しかしメモによれば、この宣言はアメリカ合衆国の商品を中国国内で流通させることを目的としています。私が調べたところだと、これがアメリカ合衆国による帝国主義的な政策の典型である、と考える研究者もいます。彼らは、経済力の強い国家が自由貿易を通じて弱小国を経済的に支配することこそが、帝国主義であると考えています。

問 6 文章中の空欄 **イ** に入れる語あ・いと、空欄 **ウ** に入れる文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

15

イ に入れる語

あ モンロー

い 門戸開放

ウ に入れる文

X アメリカ合衆国の商人を自国の商人と同等に扱う

Y アメリカ合衆国の商人を優先的に扱う

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

問 7 下線部◎について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① ポルトガルが、マカオに居住権を認められた。
 ② ドイツが、威海衛を租借した。
 ③ ロシアが、東清鉄道の敷設権を得た。
 ④ 江華島事件を機に、日本が不平等条約を締結させた。

問 8 有田さんが紹介している帝国主義的な政策は、アメリカ合衆国を含め、様々な国で見られた。前の文章を参考にしつつ、このような事例について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 南北戦争前のアメリカ合衆国北部には、保護貿易(保護関税)を求める声が強かった。
 ② フランスは、大恐慌に対処するためにフラン＝ブロックを形成した。
 ③ 独立後のラテンアメリカ諸国の経済は、農産物や地下資源(鉱産物)の輸出に頼った。
 ④ 「世界の工場」と呼ばれたイギリスが、自由貿易の拡大に努めた。

世界史 A

第 3 問 世界史上の国際関係の変化について述べた次の文章 A～C を読み、後の問い(問 1～8)に答えよ。(配点 28)

A 次の資料は、独立インドの初代首相ネルーが中国のある要人に宛てた書簡から抜粋したものである。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資 料

我々は昨今の中国の人民政府によってなされた発展を、大変な関心と驚きをもって見ております。特に米の収穫量の著しい向上、また銑鉄せんてつと鋼鉄生産の多大な増産にも深く興味を持っております。

この手紙をあなたに書いているのは別な理由からです。それはインドと中国の間の国境に関するものです。1954年に幸運にも締結された中印協定が、両国の間で未解決だった問題を全て解決したものと考えておりました。この時、国境問題は何ら出されませんでしたし、両国の間に国境論争は何もなかったというのが我々の印象です。

第二次世界大戦後にインドと中国はアジアの新しい国家として出発し、当初は良好な関係にあった。中印協定を締結した年に、ネルーは資料の書簡の相手である **ア** をインドに招いた。この時の共同声明の中で **イ** を公表し、それはアジアとアフリカの新興国の結束に大きな影響を与えることになった。

しかしその後、インドと中国は国境をめぐる争うようになった。資料は国境問題が表面化し始めた 1958 年からおよそ 5 年にわたって二人の間に交わされた書簡の最初のものである。1959 年のダライ = ラマ 14 世のインドへの亡命は、両国の対立をより先鋭化させ、その後も国境に関する交渉が繰り返し行われることになった。② こうした努力にもかかわらず、1962 年 10 月に両国の間で武力衝突が生ずるに至った。

1964 年初頭にネルーは病に倒れ、死期を悟った彼は、もう一つの重要な国境問題であるカシミールの帰属問題の解決を急いだ。

問 1 文章中の空欄 **ア** に入れる人物の名と，空欄 **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

- ① アー 鄧小平 イー 平和五原則
- ② アー 鄧小平 イー 平和十原則
- ③ アー 周恩来 イー 平和五原則
- ④ アー 周恩来 イー 平和十原則

問 2 下線部②の出来事と，第二次世界大戦以降に起こった出来事について述べた次の文あ・いが，年代の古いものから順に正しく配列されているものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **19**

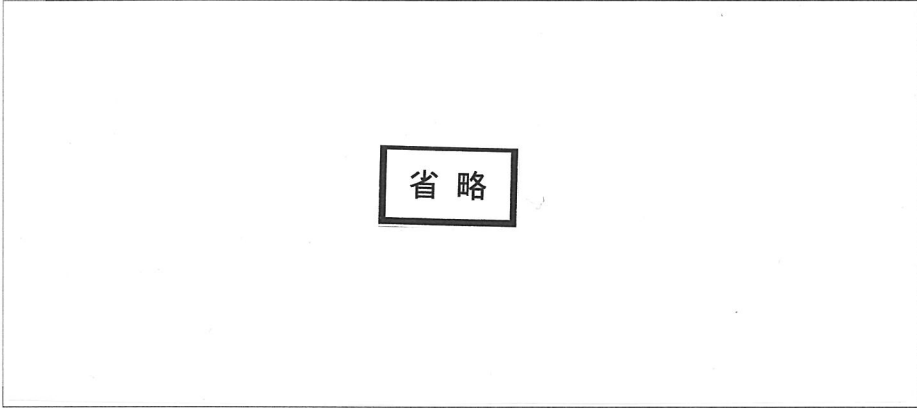
- あ 中ソ国境で武力衝突が発生した。
- い イラクがクウェートとの国境線を越えて侵攻した。

- ① あ → い → 下線部②
- ② あ → 下線部② → い
- ③ い → あ → 下線部②
- ④ い → 下線部② → あ
- ⑤ 下線部② → あ → い
- ⑥ 下線部② → い → あ

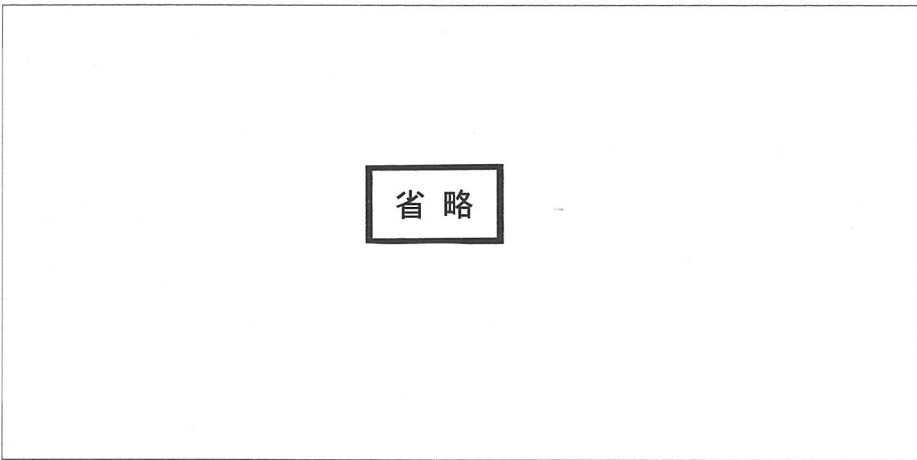
世界史 A

B 資料1・2は、ポーランドの歴史について述べた、二人の歴史研究者による文章の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1



資料2



第二次世界大戦ではポーランドは連合国側で戦ったが、戦後のポーランドは、戦前とは様々な点で異なった。例えば、資料1で示されているように、国境線が変わったことで国の形が変わり、資料2で示されているように、国民の民族的な構成も変わった。さらに、© 新たな政権が成立して、ポーランドの政治体制も大きく変わった。

問 3 下線部㉑の時期にポーランドで起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① ポーランドへのソ連軍の侵攻によって、第二次世界大戦は勃発した。
- ② ポーランドの領土が、枢軸国によって全て占領された。
- ③ ティトーが抵抗運動を組織して、ドイツ軍と戦った。
- ④ ワレサを指導者とする自主管理労働組合「連帯」が組織された。

問 4 前の文章を参考にしつつ、空欄 ウ に入れる文あ・いと、第二次世界大戦後のポーランドの領土と住民について述べた文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 21

ウ に入れる文

- あ 少数民族がほとんど居住していない、民族的に同質な国家であった
- い 様々な民族によって構成されていた時期の方が常態であった

第二次世界大戦後のポーランドの領土と住民について述べた文

- X ポーランドとソ連の国境はオーデル＝ナイセ線となり、ポーランド領内のウクライナ人とベラルーシ人の居住地がソ連領となった。
- Y ポーランドはドイツ領の一部を獲得し、またポーランド領内に居住していたドイツ人を国外に追放した。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

問 5 下線部㉒で成立した政権について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① ソ連に対抗するために、ドイツと防共協定を結んだ。
- ② 非同盟諸国首脳会議を主催した。
- ③ 東欧革命以前に、ワルシャワ条約機構から脱退した。
- ④ 経済相互援助会議(コメコン)に参加した。

世界史 A

C 17世紀以降、ヨーロッパ諸国は、多くの場合、世界各地に植民地総督を派遣し、植民地を統治した。植民地総督の数の増減とその長期的な傾向は、17世紀以降のヨーロッパの拡大や帝国主義の展開を検討するための助けとなる。つまり長期的に見れば、植民地総督の数の増減は、植民地数の増減の傾向とおおよそ比例的な関係にあると考えられる。なお、以下で用いる年代については、例えば1800年代とは1800年から1809年までを意味する。

1620年代以降、増加傾向にあった植民地総督の数は、㉑1740年代～1790年代の間に一つ目のピークを迎えた。しかし1800年代以降、1830年代まで、植民地総督の数は減少傾向に転じた。増加傾向にあった期間は、主にヨーロッパ諸国が海外に進出し、世界各地で植民地をめぐる戦いを繰り広げた時期に該当している。逆に減少傾向にあった期間は、1804年に からハイチが独立したように、㉒19世紀前半に主な中南米諸国が独立した時期に該当している。

1840年代以降、植民地総督の数は再び増加傾向に転じた。これは、列強による帝国主義政策の推進が反映されたものであろう。一方、第二次世界大戦後には、植民地総督の数は急速に減少していった。このように、植民地総督の数が減少した主な要因の一つとして考えられるのは、アジアやアフリカで植民地の独立が相次いだことである。

問 6 下線部㉑の時期に起こった出来事として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

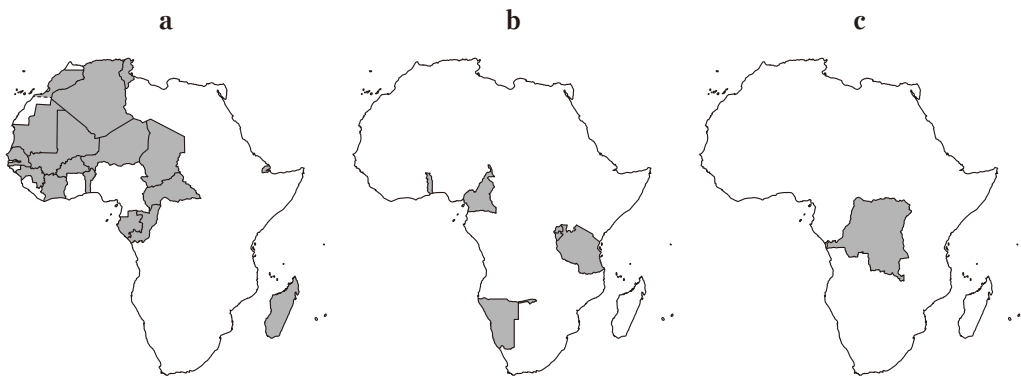
- ① オランダがアンボイナ事件で、イギリス人を殺害した。
- ② イギリス東インド会社が、プラッシーの戦いで勝利した。
- ③ アメリカ合衆国が、ハワイを併合した。
- ④ フレンチ＝インディアン戦争の結果、フランスが、ミシシッピ以東の植民地を獲得した。

問 7 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① シモン＝ボリバルが、独立運動を指導した。
- ② ペルーが、ポルトガルから独立した。
- ③ ワシントンが、植民地軍の司令官となった。
- ④ パナマが、コロンビアから独立した。

問 8 次の地図は、20世紀初頭のアフリカにおけるヨーロッパ諸国の植民地を示したものである。文章中の空欄 工 の国の植民地を示した次の地図 a～c と、工 から独立を果たした東南アジアの国の歴史について述べた文あ・いと組み合わせとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

工 の国の植民地を示した地図



工 から独立を果たした東南アジアの国の歴史

- あ ドイモイ(ドイ＝モイ)政策が採用された。
- い スカルノが、インドネシア国民党を結成した。

- ① a－あ
- ② a－い
- ③ b－あ
- ④ b－い
- ⑤ c－あ
- ⑥ c－い

世界史 A

第 4 問 世界史上の政治変革について述べた次の文章 A・B を読み、後の問い
(問 1～5) に答えよ。(配点 17)

A ① 1948 年、朝鮮半島の南部に韓国(大韓民国)が成立した。韓国では、1961 年の軍事クーデタ以来、長らく独裁政治が続き、そのなかで大統領直接選挙も実施されなくなった。しかし 1987 年、「6 月民主抗争」を経て、憲法が改正され、その憲法では、大統領直接選挙制のほか、言論・出版の検閲禁止、集会・結社の許可制禁止などが定められた。1987 年に改正された憲法は、その後の韓国における民主化の礎となった。次の資料は、その憲法の前文である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資 料

省 略

(注 1) 大韓民国臨時政府 — 三・一独立運動の後、独立運動家たちが上海で組織した臨時政府のこと。

(注 2) 4・19 民主理念 — 1960 年に李承晩政権を打倒した民主化運動の理念。

問 1 下線部②に関連して、第二次世界大戦後に朝鮮半島で起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 金日成を首相として、北部に朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
- ② 大韓民国が経済成長を続け、朝鮮民主主義人民共和国とともに、NIES(新興工業経済地域)と呼ばれた。
- ③ 北緯 17 度線付近を境として、北がソ連軍に、南がアメリカ軍に占領された。
- ④ 朴正熙と金正日との間で、南北首脳会談が実現した。

問 2 前の文章を参考にしつつ、1987 年に改正された韓国の憲法について述べた文あ・いと、世界史上の憲法について述べた文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

27

1987 年に改正された韓国の憲法について述べた文

- あ 日本の植民地支配に対する批判の精神を継承しようとしている。
- い 初代大統領が行った政治の理念を継承しようとしている。

世界史上の憲法について述べた文

- X ドイツでは、ナチス＝ドイツ政権の成立後、ヴァイマル憲法が制定された。
- Y 北米大陸では、アメリカ独立宣言の採択後、アメリカ合衆国憲法が制定された。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

世界史 A

B 次の資料 1・2 は、16 世紀に書かれた『パリイ市民の日記』の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料 1

1516 年 2 月、スペイン王であったフェルナンドが死去したことにより、彼の孫とイングランド王が、スペイン王国に対する権利を主張した。しばらくして、イングランド王はフランス王に伝令官を送った。それは、フランス王に対してスペイン王国を手に入れるための援助を求めるためであった。

資料 2

1519 年 1 月、神聖ローマ帝国の皇帝マクシミリアンがドイツの地で亡くなった。マクシミリアンの死去の後、皇帝位を手にするため、スペイン王とフランス王とによって、大いなる権謀術数が巡らされた。すなわち皇帝死去の後、フランス王は自らを選んでもらうため、大使たちを選帝侯のもとに派遣し、彼らに贈り物と金銭を約束した。6 月に選帝侯らによって皇帝の選出が行われたが、そこで皇帝に選ばれたのは、スペイン王であった。

資料 1 は、ハプスブルク家出身の人物が、スペイン王に即位する時の状況を示しており、資料 2 はそのスペイン王が神聖ローマ帝国の皇帝に選出される時の状況を示している。ハプスブルク家出身のマクシミリアンは、たびたびイタリアでフランス王と対立していた。その後新たに選出された皇帝も、イタリアでフランス王と対立することになる。

資料 1・2 では、ヨーロッパの各勢力が、自らに有利な状況を生み出そうと他の勢力と手を結んでいる状況が読み取れるが、ここには百年戦争やイタリア戦争における敵対関係の変化や継続が見て取れる。この時期から、ヨーロッパでは徐々に **ア** が形成されていき、**ア** を基調とする **㊦** 国際関係が形成されていく。

問 3 前の文章を参考にしつつ、資料2で皇帝に選出された人物の治世に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① ビザンツ帝国が滅んだ。
- ② スペイン継承戦争が起こった。
- ③ ドイツ農民戦争が起こった。
- ④ 四国同盟が結成された。

問 4 文章中の空欄 ア に入れる語あ・いと、前の文章から読み取れる内容 X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29

ア に入れる語

あ 封建社会

い 主権国家

前の文章から読み取れる内容

X 百年戦争でフランス王はイングランド王と対立したが、スペイン王位継承の問題が起きると、フランス王はイングランド王に援助を求めた。

Y イタリア戦争で対立したフランス王家とハプスブルク家は、皇帝選出の選挙においても対立した。

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X ④ い－Y

問 5 下線部①について述べた次の文うとえの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

う オーストリアは、長年の敵対関係を解消しフランスと同盟を結んだ後、七年戦争でプロイセンと戦った。

え フランスで王政が廃止されルイ16世が処刑されると、ヨーロッパ諸国はイギリスの呼び掛けにより対仏大同盟(第1回対仏大同盟)を結んだ。

- ① う－正 え－正 ② う－正 え－誤
 ③ う－誤 え－正 ④ う－誤 え－誤